



平成 28 年 3 月 28 日

各 位

会社名	株式会社日本製鋼所
代表者名	代表取締役社長 佐藤 育男
コード番号	5631 東証・名証第 1 部
問合せ先	総務部長 菊地 宏樹
	電話：03-5745-2001

当社連結子会社における不適切な会計処理について

この度、当社の連結子会社であるファインクリスタル株式会社（同社の概要については、別紙をご参照下さい。以下「FCC」といいます。）におきまして、不適切な会計処理が行われていたことが判明いたしました。

不適切な会計処理の内容の詳細、影響金額を含め、事実関係解明のために、当社内に内部調査委員会を設置いたしましたので、併せてお知らせいたします。

当社の株主・投資家の皆様をはじめ、市場関係者及び取引先の皆様に、多大なご迷惑とご心配をおかけいたしますことを心より深くお詫び申し上げます。

記

1. 現在判明している内容について

当社が、平成 28 年 2 月頃関連会社の財務諸表分析を行ったところ、FCC の貸借対照表の一部勘定科目において計上額が過大ではないかとの疑念が生じたため、今月上旬より確認作業を行ってまいりました。

その結果、現時点の調査では、過年度より売上原価を仕掛品等に振り替える費用の繰延等の不適切な会計処理が行われ、FCC の売上原価が累計で約 12 億円過小に計上されていたことが判明いたしました。なお、当該金額は現時点での調査結果に基づくものであり、今後変わる可能性もございます。

2. 内部調査委員会の設置について

当社は、これを受けて、本日開催の取締役会において、下記のとおり内部調査委員会を設置することを決定し、事実関係解明のために本格的調査を開始いたしました。

(1) 委員会の目的

本件にかかる事実関係の解明ならびに他に同様の事象が存在しないかを調査し、併せて原因の究明分析と再発防止策の提言等を行うことを目的としております。

(2) 委員会のメンバー

- ・委員長 野村 晋右 (当社顧問弁護士 野村綜合法律事務所)
- ・委員 河上 守 (当社社外監査役 (常勤))
- ・委員 岩下 壽夫 (当社監査役 (常勤))
- ・委員 東泉 豊 (当社取締役常務執行役員 CFO)

※内部調査委員会の下には事務局を置き、必要かつ十分な補助を行うものとします。

(3) 調査スケジュール

委員会は、厳正かつ徹底した調査を行い、4月下旬を目途に調査報告書を当社取締役会に対して提出する予定です。

3. 今後の対応について

当該不適切な会計処理による当社連結財務諸表への影響額は、現在調査中ではありますが、判明次第速やかにお知らせいたします。

また、調査結果につきましても、報告書を受領次第速やかにお知らせいたします。

なお、当社の連結業績の修正が必要となった場合には、速やかに有価証券報告書及び四半期報告書の訂正報告書を関東財務局に提出するとともに、同期間の決算短信および四半期決算短信の訂正を速やかに開示いたします。

以 上

別紙

ファインクリスタル株式会社の概要

(1) 名称	ファインクリスタル株式会社			
(2) 所在地	北海道室蘭市茶津町9番地1			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 清野 芳紀			
(4) 事業内容	光学用ローパスフィルター、水晶原石、各種ウエハーの製造			
(5) 資本金	880百万円(平成27年3月31日)			
(6) 設立年月日	昭和63年8月			
(7) 大株主及び持株比率	株式会社日本製鋼所 100%			
(8) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
売上高		3,316百万円	2,250百万円	2,216百万円
営業利益		423百万円	△5百万円	△276百万円
経常利益		425百万円	59百万円	△174百万円
当期純利益		213百万円	△8百万円	△137百万円
純資産		2,613百万円	2,504百万円	2,366百万円
総資産		3,793百万円	3,574百万円	3,348百万円

※各決算期の数値は本件調査による影響額を反映前の数値

以上